
ごめんね、お母さん。

みづき海斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ごめんね、お母さん。

【Nコード】

N0553P

【作者名】

みづき海斗

【あらすじ】

あの日の空は青かった。それは誰もが永遠のものだと信じていた。

（前書き）

「2010夏のホラー」の直後に書いたものです。

ごめんね、お母さん。

あの日の空は真っ青で雲ひとつなかったね。

お母さんは、町内会の寄り合いで家を留守にしていたね。
その時。

大きな太陽が空で爆発したんだよね。

ごめんね、お母さん。

街ごと、人ごと、私は死んでしまったの。

ごめんね、お母さん。

お腹の命も一緒に、きつともしかしたら、お母さんも何処かで・

・
・
・
・

だから、私は叫び続けるよ。

『ごめんね、お母さん。』

って。

日本中の子どもたちが、世界中の子供たちが叫んでいるよ。

『ごめんね、お母さん』

って。

この世に戦争がある限り、この世に人の手で造られた『果て世』
がある限り。

戦争はいけないよ、って気付くまでどれくらい時間が必要なんだ
ろうね。

それまで、私は叫び続けるよ。

『ごめんね、お母さん』

って。

お母さんも怒り苦しんでるだろうね。

日本中の母親たちが、世界中の母親たちが怒り苦しんでいるんだろっね。

『子供を返せ。私を返せ。』
って。

忘れてはいけないよ、あの日の空を。
爆発した太陽。

（後書き）

複雑な心境でサイトUP出来なかったものです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0553p/>

ごめんね、お母さん。

2010年11月21日22時28分発行